



# 開成校新聞

発行 開成中等新聞局  
発行責任者 宮崎 制作者 吉田・清水 渡邊・鳴海

1/365コマ



新聞局からの挑戦状① (116号より) Aここは開成の玄関の一つで、格技室の横の階段を降りた先にあります。普段、生徒が使うことはほとんどありませんが、人感センサーが完備されています。次回の挑戦状もお楽しみに!

## 女子バド部 『負けたが熱い試合だった』

5月27日に第76回北海道高等学校バドミントン選手権大会札幌支部予選会が行われた。  
開成の女子バドミントン部は一回戦を勝ち上がったが、次戦で札幌光星高校に

敗れ、二回戦敗退となった。女子バドミントン部キャプテンの6年坂上遥夏さんは、一回戦について「普段から練習試合で対戦しており、

勝てるか五分五分であったため勝って良かった」と話し、二回戦については「相手は強豪であったが、組み始めて一カ月の

ペアが勝利してくれたため、負けたが熱い試合となった」と振り返った。高体連前にはダブルスを組み直したためダブルスの練習を重点的に

行ったという。後輩へ期待することを問われると「一つ下の学年は一人しかいないため、二つ下の代も多く試合に出ると思う。学年を超えて協力しながら頑張りたい」と語った。

## 全力を尽くした高体連

5月28日に令和6年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会札幌支部予選が行われた。開成の男子バスケット部は札幌西高校と、女子バスケット部は札幌創成高校とそれぞれ対戦し、敗れた。男女ともに初戦敗退となった。

男子バスケット部キャプテンの6年山田涼太郎さんは試合について「相手がかなり強かったが、自分たちが三年間でやってきた成果を出し、できることを尽くしたと思う」と話した。普段はポジションに分けて個人技を磨いたり、それを繋げてチームの一つのプレーにしているなど、個とチームの両方を意識した練習をしていたという。後輩

へ期待することを問われると「私たちの代は今年度の初めての大会で一勝して以来全然勝てなかったため、勝ちを目指して精一杯努力してほしい」と力強く語った。女子バスケット部キャプテンの6年中嶋亜希さんによると、今年から色々な学校との試合機会が増えたため、個人でスキルアップを行った

後は実践的な練習をしているという。今回の試合では対戦相手が春季大会でも接戦となった創成高だったため、「次こそは勝とうという強い気持ちで最後まで戦った」と話した。後輩に対しては「顧問の先生が作ってくれる環境を十分に活かしながら、皆でチームを作っていくしてほしい」と語った。

## 後輩に期待を寄せせる

男女バスケット部

**男バス試合結果**  
札幌開成 札幌西  
49対107

**女バス試合結果**  
札幌開成 札幌創成  
57対73

**一回戦結果**  
札幌開成 札幌平岸  
3対2

**二回戦結果**  
札幌開成 札幌光星  
1対3